

024

リスク管理のIT化とプロ人材発掘に係るソリューション提案により、自動車サプライチェーン強化を促進

取組主体

株式会社名古屋銀行

従業員数

想定災害

実施地域

1,920人

地震等

愛知県

・人材サービスのエスプール（本社東京都）と、サプライチェーンリスク管理プラットフォーム「レジリア」を手掛けるHIPUS（ハイパス、本社東京都）と業務提携し、取引先のサプライチェーン強化に寄与

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

サプライチェーン応援窓口の設置

- ・南海トラフ巨大地震の脅威に加えて、足元での原材料価格高騰や供給体制の不安定な状況、更には地政学リスクが高まっている等、様々な業種でサプライチェーンへの影響が懸念されている。
- ・同行では、これらの影響を直接的・間接的に受けられている取引先企業に対し、資金繰りや各種ソリューションの相談に対応するため、2022年3月よりサプライチェーン応援の専用窓口を開設している。



サプライチェーン応援窓口

災害時のサプライチェーン支援

- ・グローバル化に伴い、自動車業界をはじめとするサプライチェーンは益々複雑化している。また、昨今では新型コロナウイルス感染症の影響による工場停止や部品供給難、気候変動による大規模な自然災害の発生などの増加により、サプライチェーン管理の重要度は更に高まっている。
- ・同行は、株式会社HIPUSのサプライチェーンリスク管理プラットフォーム「レジリア」を用いて、サプライチェーンの供給網の早期復旧や迅速な代替調達先の選定をサポートする。

電動化対応等のサプライチェーン支援

- ・自動車業界では、電動化対応や新分野への展開などには高い専門知識やノウハウが必要となっている。
- ・同行が業務提携したエスプールが提供する人材マッチングサービス「プロフェッショナル人材バンク」は、自動車業界の経験や知見を持つ人材など1万3千人以上登録されており、プロ人材の中から顧客に応じた人材を紹介している。同行は、取引先の自動車関連企業の課題や人材ニーズを見極め、プロ人材の活用を提案し、電動化対応や業態転換の経営課題解決のサポートをする。

2 現状の課題・今後の展開等

- ・「100年に一度の大変革期」と言われる自動車業界の中にある自動車サプライヤー企業は、様々な外部・内部の窮境要因にさらされており、最近でもカーボンニュートラル対応、サイバーセキュリティ対応、原材料価格・エネルギー費高騰対応等解決しなければならない課題が山積している。上記に記載の様な災害時や電動化対応等のサプライチェーン支援策以外にもソリューションメニューを積極的に拡充し、日本の基幹産業である自動車業界のサプライチェーンの維持・向上に資する取り組みを行っていく。

3 周囲の声

- ・中小零細サプライヤーは、人的リソースも乏しい部分もあり、銀行に有効なソリューションツールを紹介してもらってありがたかった。（取引先自動車サプライヤー企業）
- ・実際にプロ人材を取引先に紹介する中で優良企業でも、営業面・人材面など経営課題は必ずあることが再認識でき、プロ人材活用の有効性が理解できた。（当行営業行員）

担当者の声

- ・災害地点の可視化及び被災状況の見える化の提案により、サプライヤー企業各社の各拠点における防災体制について、改めて見直すきっかけとなれば良いと考える。

国土強靱化

- ・「100年に一度の大変革期」により事業領域の拡大や新事業への転換への迅速な支援が必要な自動車サプライヤー企業への有効な伴走支援を外部のアライアンス先とも連携し、積極的に行っていく所存である。

問合せ先	動画	サイト URL
株式会社名古屋銀行 経営企画部 広報グループ（横田） TEL : 052-962-7996 FAX : 052-962-1843 E-Mail : yokota_yasuhiro@ex.meigin.co.jp	—	